

第4次亀岡市総合計画
～夢ビジョン～

概要版

後期基本計画

平成28年4月～平成33年3月





第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～ 後期基本計画を策定しました。

～市民力で拓く新たなまちづくり～



亀岡市長
桂川 孝裕

私たちのまち亀岡は、豊かな自然や田園環境にめぐまれ、京の都に近接する京都丹波地域の玄関口として、悠久の歴史や文化を育むとともに、日本初のセーフコミュニティの認証など、市民とのパートナーシップを基礎とした先進的な取組を進めてきたまちです。

平成23年に、32年度までの10年間を計画期間とした第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～を策定し、目指す都市像である「水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～」の実現に向けてまちづくりを進めてきました。

平成27年度までの前期基本計画期間の約5年の間に、人口減少や経済のグローバル化など社会経済状況は大きく変化しており、本市においてもこの変化に迅速に対応し、様々な問題を克服していかなければなりません。一方で本市には京都縦貫自動車道の全線開通や、京都スタジアム(仮称)の建設決定等、にぎわいの創出に向けた絶好の機会が到来しています。

今回策定した後期基本計画には、社会経済状況の変化に迅速に対応するため、またにぎわい創出に向けた絶好の機会を確実にとらえて更なる発展に結び付けるために、前期基本計画の進捗と成果を踏まえて様々な施策を盛り込みました。

ここに位置付けた一つ一つの施策を着実に実践し、ふるさと亀岡の魅力を磨き上げ、「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現を目指してチャレンジしていきます。

平成28年4月

第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～とは

総合計画とは？

亀岡市のあらゆる施策や計画の基礎になるものです。市のまちづくりの目標やめざす都市像を定めそれを実現していくための方法をまとめたもので、平成32年度(2020年度)までの計画です。

亀岡市でも、少子高齢化の進行や地球環境問題の深刻化など環境が大きく変化していく中、これまでのような行政主体のまちづくりではなく、市民と行政がともに考え、取組む「協働」によるまちづくりが必要です。このような考えから、第4次亀岡市総合計画はつくられました。

総合計画の構成と期間

10年の「基本構想」と、5年ごとの「基本計画」で構成し、今回、基本構想の後半5年間の「後期基本計画」を策定しました。

基本構想とは？

まちづくりの指針となる10年の長期的なビジョンです。

基本計画とは？

目指す都市像を実現するために取組むべき施策を総合的に示す5ヵ年計画です。

平成23年

平成32年度



目指す都市像

後期基本計画の重点テーマ

基本構想に掲げる「水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～」を実現するため、次の3つを重点テーマとして掲げ、あらゆる取組において、この3つのテーマとの連携や貢献を意識した施策を展開します。

基本構想

目指す
都市像

水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか
～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～

実現

まちづくりの基本理念

市民の参画と
協働の推進

安全・安心
ぬくもりの創出

豊かな自然と
先人の知恵の
継承・活用

後期基本計画

重点テーマ1

定住促進・少子化対策

快適で魅力のある定住環境を整える

- 子育てで憧れのまちを目指します。
- 世界に誇れる自然・生活環境を活かし、あらゆる分野において定住促進・少子化対策に取り組めます。

連携・貢献

重点テーマ2

安全・安心の推進

セーフコミュニティで 安全・安心の定住環境を整える

- セーフコミュニティの取組を活かして、市民の誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- 誰もが、健康に生きがいを持って暮らせる地域づくりを進めます。

重点テーマ3

にぎわいの創出

交流人口を増加させ、 にぎわいを創出する

- 京都スタジアム（仮称）を中心にスポーツと三大観光との連携等を通じてまち全体がまるごとになぎわの拠点として整備していきます。
- 豊かな自然や歴史文化とおもてなしの心で、交流の増加と観光振興に取り組めます。

『夢』、『希望』を実現するシンボルプロジェクト

「シンボルプロジェクト」は、「目指す都市像」を実現していくため、市民・団体・事業者・行政が同じスタートラインに立ち、みんなで考え、一緒に取組み、具現化していくまちづくりの取組です。

後期基本計画期間は、2018年に完成予定の京都スタジアム(仮称)と京都・亀岡保津川公園を活かしたまちづくりをテーマに取組を進めていきます。



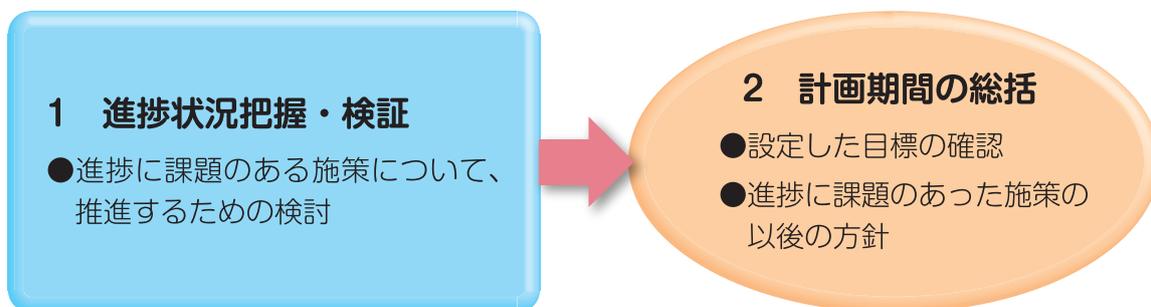
後期基本計画の進行管理

「総合計画」は、市民と行政が共有するまちづくりの指針で計画の進捗状況についても互いに共通した認識と目標に立った進行管理が必要です。

目標を共有し協働のまちづくりを進めるために、市民にわかりやすいまちづくりの指標として「目指す目標」を設定します。

進行管理に当たっては、前期基本計画の成果と課題を踏まえ、進捗状況の把握及び課題について検討するとともに、後期基本計画で掲げた目標に対する成果の把握・検証を行います。

■進行管理の流れ



第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～ 後期基本計画 概要版

発行 平成28年4月 亀岡市 〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地

☎0771-22-3131 fax0771-24-5501 URL <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/>

編集 亀岡市 企画管理部 企画調整課

全文はHPで公開中です

夢ビジョン 後期基本計画

検索

施策分野別基本計画 ～ 8つの基本方針と取組

1 互いを認め合う、ふれあいのまちづくり ～人権の尊重・市民協働の推進～

取組項目

- 人権尊重・平和
- 男女共同参画
- コミュニティ
- 市民協働

新たな取組等

- 市民活動への寄附を受け入れる基金の創設と運用
- 亀岡市を応援する組織づくり
- 協働コーディネーターの仕組みづくり



2 安全で安心して暮らせるまちづくり ～安全・安心の推進～

取組項目

- セーフコミュニティ
- 防災・消防
- 交通安全・防犯
- 消費者保護



新たな取組等

- インターナショナル・セーフスクール活動の推進
- 原子力災害への対応
- 避難行動要支援者名簿の整備
- 高齢者による交通事故の防止
- 防犯カメラの整備

3 健康で元気あふれるまちづくり ～健康づくり・福祉の充実～

取組項目

- 健康づくり・医療
- 地域福祉
- 子育て支援
- 高齢者福祉
- 障害のある人の支援

新たな取組等

- 福祉人材の育成
- 妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援の推進
- 子育て支援ネットワークづくり
- 子育て世代が働きやすい職場づくり



4 豊かな心と文化を育むまちづくり ～生涯学習・教育の推進～

取組項目

- 生涯学習
- 就学前教育・学校教育
- 社会教育
- 文化芸術・歴史文化
- 生涯スポーツ
- 地域間交流・国際交流



新たな取組等

- 体験活動等の充実
- 学校規模適正化の推進
- 学校施設における空調機器の整備の推進
- 放課後児童対策の充実
- 特色ある食文化の発信

京都スタジアム(仮称)関連

- 京都スタジアム(仮称)の活用
- 機運を盛り上げる情報発信の充実

5 人と環境にやさしいまちづくり ～生活環境の向上～

取組項目

- 自然環境
- 地球環境・省エネルギー
- 資源循環・廃棄物処理
- 市街地
- 景観保全・形成
- 公園・緑地



新たな取組等

- 文化的景観保全に向けた連携
- わがまちの花・緑づくりの推進

京都スタジアム(仮称)関連

新たな交流拠点の整備

- 京都・亀岡保津川公園の整備
- 新たな拠点を活かした交流機会の充実

6 活力あるにぎわいのまちづくり ～産業の振興～

取組項目

- 農業
- 林業
- 商業
- ものづくり産業
- 観光
- 就労支援



新たな取組等

- 地産地消の推進
- 企業用地の確保
- 体験・滞在型観光の推進

京都スタジアム(仮称)関連

スポーツを活かした交流の振興

- スポーツ観光の推進
- 京都スタジアム(仮称)と観光資源の連携強化

7 快適な生活を支えるまちづくり ～都市基盤の整備～

取組項目

- 道路
- 公共交通
- 河川
- 水道
- 下水道
- 住宅・住環境
- 火葬場
- 情報・通信



新たな取組等

- 公共交通空白地等の解消
- 空き家の適切な管理の促進と活用
- 広聴機会の充実
- シティプロモーションの推進



8 効率的で明るい都市経営 ～計画を推進する行財政運営～

取組項目

- 行政運営
- 財政運営
- 広域連携



新たな取組等

- 公共施設等の効果的な活用と効率的な維持管理の推進
- 財政状況の周知



後期基本計画 市民と行政の協働による「目指す目標」

章	節	目指す項目	基準値 (H26)	目標 (H32)
1	人権尊重・平和	平和推進事業に参加した人数	2,428人	2,800人
		人権教育講座等への参加者の拡大	1,967人	2,200人
	男女共同参画	審議会等への女性の登用の比率	32.3%	50.0%
	コミュニティ	自治会加入世帯率	81.0%	維持
2	市民協働	市民活動への寄附を受け入れる基金の創設	未着手	創設・運用
	セーフコミュニティ	救急搬送件数(重傷外傷分)	88件	79件
	防災・消防	災害備蓄数(食料)	10,536食	19,000食
	交通安全・防犯	交通事故死傷者数	421人	357人
		街頭犯罪認知件数	307件	260件
消費者保護	消費生活相談の開催回数	週5回	週5回	

章	節	目指す項目	基準値 (H26)	目標 (H32)
3	健康づくり・医療	がん検診受診率	14.3%	(H28) 50.0% (国の目標値)
		特定健診の受診率(亀岡市国保加入者、40歳～74歳)	33.6%	(H29) 60.0% (国の目標値)
	地域福祉	ライフライン事業者との見守り協定数	33件	39件
	子育て支援	地域子育て支援拠点事業等ひろば事業・つどい事業参加者数	34,273人	35,200人
	高齢者福祉	認知症地域支援推進員数	2人	9人
	障害のある人の支援	計画相談支援・障害児相談支援の進捗率	53.3%	100.0%
4	生涯学習	人材バンクの利用件数	4件	10件
	就学前教育・学校教育	小中学校の非構造部材(建物本体の構造体以外の照明器具等)の耐震化率	平成27年度から開始	100.0%
	社会教育	市民一人当たり年間貸出冊数	4.66冊	5.30冊
		各町「心の教育」取組参加者数	5,350人	6,000人
	文化芸術・歴史文化	新資料館構想に基づく基本計画の策定	未着手	策定
	生涯スポーツ	各種スポーツ大会・教室参加者数	9,809人	15,000人
	地域間交流・国際交流	亀岡市・西京区住民交流推進事業参加者数	705人	1,000人
5	自然環境	公害監視活動日数	月3日	週1回
	地球環境・省エネルギー	亀岡市の温室効果ガス排出量	471.2kt-CO2 (H24)	323.1kt-CO2 (H30)
	資源循環・廃棄物処理	市民一人当たりの年間ごみ排出量	172kg/人	162kg/人
		資源化率	16.4%	20.9%
	市街地	土地区画整理事業箇所数	13箇所	16箇所
	景観保全・形成	景観まちづくり市民団体の支援	平成27年度から開始	1団体
6	農業	認定農業者数(地域認定・認定新規就農者含む)	107人	120人
		ほ場整備率	56.4%	72.4%
	林業	林道・作業道延長	130km	135km
	商業	卸売業・小売業の年間商品販売額	841億円	1,000億円
		卸売業・小売業の従業者数	5,780人	6,000人
	ものづくり産業	誘致企業数(既存工場の増改築を含む)	32箇所	36箇所
		工業の従業者数	5,013人	5,100人
観光	観光入込客数	2,408,467人	2,530,000人	
	観光消費額	63.0億円	70.0億円	
7	道路	都市計画道路(国道・府道を除く)整備率	71.0%	87.6%
	公共交通	コミュニティバス・ふるさとバス乗車人数	246,377人	260,000人
	河川	準用指定10河川の整備率	84.8%	91.8%
	水道	配水池の耐震化率	71.4%	100.0%
	下水道	下水道水洗化率	85.6%	89.9%
	住宅・住環境	住宅の耐震化率	80.0%	90.0%
	火葬場	新火葬場整備計画等策定	未着手	策定
	情報・通信	情報化推進計画に基づく年次計画の策定・推進	未着手	事業推進
8	行政運営	市民情報コーナーの利用者数	14,324人	15,000人
		市の審議会等における公募委員の比率	9.7%	10.0%
	財政運営	市税などの収入額に対する一般会計や企業会計の借入金返済額などの割合(将来負担比率)	157.7%	152.7%
	広域連携	広域連携を通じた情報発信	3回	5回